

音楽科学習指導案

平成30年8月29日(水) 第4校時

音楽室

授業学級 1年D組(40名)

授業者 指導教諭

1 題材名 『魔王』の登場人物の表情や気持ちを考えてみよう(1年)

2 主眼

『魔王』の曲想の変化について考える場面で、音の高低や強弱、調に着目し、登場人物の表情や気持ちの変化を考えたり発表したりする活動を通して、音の高低や強弱、調と曲想の関わりから心情の変化を言葉で説明できるようになる。

3 本時の位置 (全2時間中 第2時)

前時:『魔王』の概要を知り、曲の構成や詩の内容、登場人物の表現の特徴について気づくことができた。

4 展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応(太字はキーワード)	◆学習内容 ◇教師の指導・援助	時間	備考
はじめ	1 前時の振り返りをし、『魔王』を聴き物語の移り変わりについて考える。	ア 登場人物ごとに表現の方法が違った。 学習問題:登場人物の気持ちは曲でどのように表されているのだろう。 イ 音の高低、強弱、長調・短調に着目したらわかった。 学習課題:音の高低や強弱、調に着目し、登場人物の表情や気持ちの変化を考えよう。	◆前時に学習した物語の内容や登場人物の特徴について確認する。 ◇前時、登場人物の気持ちの違いが何からわかったか問う。	5分	ワークシート CD
	2 魔王の表情と心情を考え、グループで表情のカードを作り、発表する。	ウ 魔王の表情は、最初は笑っているけれど最後の方は怖い顔だと思う。 エ 顔が笑っていても、本当は子を早く連れ去りたいという気持ちで、少し焦っていると思う。 オ 長調で明るい感じがするから最初は笑っている感じがするけど、途中で短調になるから怖い顔になると思う。 カ 「じたばたしてても」のところで短調になっていると思う。	◆魔王の分部のみを聴き、最初と最後の魔王の表情の変化を作る。音楽の要素と表情を関連付けて考え、ワークシートに記入するし、発表する。 ◇発表の際、タブレット端末を用いて生徒が書いた魔王の表情を撮影し、電子黒板に写し、意見を共有しやすくする。 ◇表情が変わったのは、音楽でいえばどこか、どのように変わったのかを問う。	20分	電子黒板 黒板 タブレット端末
	3 子の心情の変化や父と子の心情の違いについて考える。	キ 音がだんだんと高くなっているから、怖いという気持ちが増しているのが分かる。 ク 強弱がだんだん強くなっているから、叫び声がだんだん大きくなっている感じがする。 本時の評価基準に達しなかった生徒への手だて ・曲と楽譜心情の変化を関連付けられなかった生徒には、音楽の要素の変化からどのような感じがするかを考え、共に考える。	◆子の分部のみを聴き比べ、子の心情の変化、音楽だとうどう変化していくかについて考え、発表する。 ◇「お父さんお父さん」の分部のみをピアノで弾き比べ音の変化が分かりやすくなるようにする。	15分	
	4 本時の振り返りを行う。	ケ それぞれの登場人物の音楽に特徴があり、登場人物が会話をするように曲が進むので面白い。 コ 音の高さの変化や強弱の変化で、登場人物の気持ちの変化が表されていると分かった。	◆前時と本時の振り返りをし、『魔王』のまとめをワークシートに記入し、発表する。 ◇分かったことや今後に生かせそうなことをまとめ、本時のまとめとする。	10分	PC 電子黒板

5 反省